

1 二次関数 $y = 4x^2 - 16x - 9$ において、最小値は $x =$ のとき、 $y =$ である。また、 $y \leq 0$ となる x の範囲を求めると である。

この二次関数のグラフを x 軸方向に $\frac{3}{2}$ 、 y 軸方向に a だけ平行移動すると点 $(1, 7)$ を通った。このとき、 $a =$ である。

2 次の各問の空欄に当てはまる最も適切な数値を記入せよ。

(1) 放物線 $y = 2x^2$ を、 x 軸方向に -1 、 y 軸方向に 3 だけ平行移動する。この放物線をグラフとする二次関数は

$$y = \text{}x^2 + \text{}x + \text{}$$

である。

(2) 放物線 $y = -2x^2$ を平行移動したグラフが、2点 $(1, 1)$ 、 $(2, -8)$ を通るとき、この放物線をグラフとする二次関数は

$$y = -\text{}x^2 - \text{}x + \text{}$$

である。

(3) 3点 $(3, 0)$ 、 $(-2, 0)$ 、 $(2, 6)$ を通る放物線をグラフとする二次関数は

$$y = -\frac{\text{>}}{\text{>}}x^2 + \frac{\text{>}}{\text{>}}x + \text{>}$$

である。

(4) 点 $(-1, 2)$ を頂点とし、点 $(2, 0)$ を通る放物線をグラフとする二次関数は

$$y = -\frac{\text{>}}{\text{>}}x^2 - \frac{\text{>}}{\text{>}}x + \frac{\text{>}}{\text{>}}$$

である。

3 二次関数 $y = x^2 + 2x - 15$ について、次の設問に答えよ。

(1) 二次関数の頂点の座標を求めよ。

(2) $x = -3$ 、 $x = 5$ のときの二次関数の値を求めよ。

(3) 二次関数と x 軸との交点を求めよ。

(4) (2) で求めた二次関数の値の大きい方の座標と、(3) で求めた交点のうちの x の値が小さい方の座標を結ぶ直線の式を求めよ。

2016年薬学部第2問

2 二次関数 $y = 4x^2 - 16x - 9$ において、最小値は $x =$ のとき、 $y =$ である。また、 $y \leq 0$ となる x の範囲を求めると である。 $-\frac{1}{2} \leq x \leq \frac{9}{2}$

この二次関数のグラフを x 軸方向に $\frac{3}{2}$ 、 y 軸方向に a だけ平行移動すると点 $(1, 7)$ を通った。このとき、 $a =$ である。
7

$$\begin{aligned} y &= 4x^2 - 16x - 9 \\ &= 4(x^2 - 4x) - 9 \\ &= 4(x-2)^2 - 16 - 9 \\ &= 4(x-2)^2 - 25 \end{aligned}$$

$\therefore x = 2$ のとき、最小値 $y = -25$ //

$$\begin{aligned} y \leq 0 &\Leftrightarrow 4(x-2)^2 - 25 \leq 0 \\ &\Leftrightarrow (x-2)^2 \leq \frac{25}{4} \\ &\Leftrightarrow -\frac{5}{2} \leq x-2 \leq \frac{5}{2} \\ &\Leftrightarrow \underline{-\frac{1}{2} \leq x \leq \frac{9}{2}} // \end{aligned}$$

x 軸方向に $\frac{3}{2}$ 、 y 軸方向に a だけ平行移動すると、

$$\begin{aligned} y &= 4\left(x - \frac{3}{2}\right)^2 - 16\left(x - \frac{3}{2}\right) - 9 + a \\ &= 4x^2 - 12x + 9 - 16x + 24 - 9 + a \\ &= 4x^2 - 28x + 24 + a \end{aligned}$$

これが $(1, 7)$ を通るので、

$$\begin{aligned} 7 &= 4 - 28 + 24 + a \\ \therefore \underline{a = 7} // \end{aligned}$$

2016年1期2日目第3問


 数理
石井K

3 次の各問の空欄に当てはまる最も適切な数値を記入せよ。

(1) 放物線 $y = 2x^2$ を, x 軸方向に -1 , y 軸方向に 3 だけ平行移動する. この放物線をグラフとする2次関数は

$$y = \boxed{2} x^2 + \boxed{4} x + \boxed{5}$$

である.

(2) 放物線 $y = -2x^2$ を平行移動したグラフが, 2点 $(1, 1)$, $(2, -8)$ を通るとき, この放物線をグラフとする2次関数は

$$y = -\boxed{2} x^2 - \boxed{3} x + \boxed{6}$$

である.

(3) 3点 $(3, 0)$, $(-2, 0)$, $(2, 6)$ を通る放物線をグラフとする2次関数は

$$y = -\frac{\boxed{20}}{\boxed{21}} x^2 + \frac{\boxed{22}}{\boxed{23}} x + \frac{\boxed{9}}{\boxed{24}}$$

である.

(4) 点 $(-1, 2)$ を頂点とし, 点 $(2, 0)$ を通る放物線をグラフとする2次関数は

$$y = -\frac{\boxed{25}}{\boxed{26}} x^2 - \frac{\boxed{27}}{\boxed{28}} x + \frac{\boxed{29}}{\boxed{30}}$$

である.

$$(1) y = 2(x+1)^2 + 3 \quad \therefore \underline{y = 2x^2 + 4x + 5}$$

$$(2) y = -2x^2 + ax + b \text{ とおくと,}$$

$$\begin{cases} 1 = -2 + a + b \\ -8 = -8 + 2a + b \end{cases}$$

これを解いて, $a = -3, b = 6$

$$\therefore \underline{y = -2x^2 - 3x + 6}$$

$$(3) y = a(x-3)(x+2) \text{ とおくと,}$$

$$(2, 6) \text{ を通るので, } 6 = a \cdot (-1) \cdot 4$$

$$\therefore a = -\frac{3}{2}$$

$$\therefore y = -\frac{3}{2}(x-3)(x+2) \quad \therefore \underline{y = -\frac{3}{2}x^2 + \frac{3}{2}x + 9}$$

$$\therefore (4) y = a(x+1)^2 + 2 \text{ とおくと}$$

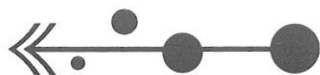
 $(2, 0)$ を通るので

$$0 = 9a + 2$$

$$\therefore a = -\frac{2}{9}$$

$$y = -\frac{2}{9}(x+1)^2 + 2$$

$$= \underline{-\frac{2}{9}x^2 - \frac{4}{9}x + \frac{16}{9}}$$



2015年経済(1期)第5問

 数理
石井K

 5 二次関数 $y = x^2 + 2x - 15$ について、次の設問に答えよ。

- (1) 二次関数の頂点の座標を求めよ。
 (2) $x = -3$, $x = 5$ のときの二次関数の値を求めよ。
 (3) 二次関数と x 軸との交点を求めよ。
 (4) (2) で求めた二次関数の値の大きい方の座標と、(3) で求めた交点のうちの x の値が小さい方の座標を結ぶ直線の式を求めよ。

$$(1) y = (x+1)^2 - 16 \quad \therefore \text{頂点は } \underline{(-1, -16)} //$$

$$(2) x = -3 \text{ のとき. } y = (-3)^2 + 2 \cdot (-3) - 15 = \underline{-12} //$$

$$x = 5 \text{ のとき. } y = 5^2 + 2 \cdot 5 - 15 = \underline{20} //$$

(3) $x^2 + 2x - 15 = 0$ を解く。

$$(x+5)(x-3) = 0 \quad \therefore x = -5, 3$$

$$\therefore \underline{(-5, 0), (3, 0)} //$$

(4) $(5, 20)$ と $(-5, 0)$ を結ぶ直線の式は。

$$y = \frac{20-0}{5-(-5)} (x+5)$$

$$\therefore \underline{y = 2x + 10} //$$